

2010・広大マスタースズ市民講座報告

野っ原探検講座（第4回） “里山で遊ぼう”（10月31日開催）

西村 清巳

3年間にわたる野っ原探検講座の最後を、空も心も快晴で飾るはずでしたが、別れを惜しんでか雨中の探検で最後を飾ることになってしまいました。

5家族13名の参加と安藤先生、学生ボランティア、教育委員会のスタッフを含めて総勢21名が雨にも負けずスタートしました。



最初に、広大キャンパス内のドングリ（マテバシイ）拾い。キャンパス内にたくさん有るドングリの中で、一番大きい実をつけているマテバシイをいっぱい拾いました。雨の中をものともせず自然観察をしながら山中池の東屋まで歩きました。ブルーの釣鐘をつけたツリガネニンジン、フジバカマに似た花をつけたヒヨドリバナ、甘酸っぱい実を採って食べたナツハゼ、むかごをつけたヤマノイモ、赤いガクヘンとブルーの実が美しいクサギなどを見たり、かいだり、食べたりしながら山中池に向かいました。元気な子どもたちの好奇心に圧倒されました。



写真1. 皆でマテバシイの実を十分に炒る。



写真2. パン生地をこねるお母さんたち。



写真3. パン生地にごんぐりの実を混ぜ、延ばす。



写真4. 棒状のパン生地を竹串に巻き、炭火で焼く。



写真5. パンの望遠鏡だ！



写真6. パンの穴にジャムを入れてどんぐりパンの出来上がり。



写真7. 西村先生のお別れのお話をうなづきながら聞く子どもたち。

東屋の下で、ドングリパンとリンゴ・ナツハゼミックスジャムを作って楽しい昼食会をしました。これで野っばら探検講座が終わりだと思わず少し寂しい気がします。3年間通してお世話をさせていただきました安藤先生、東広島市生涯学習課の皆さん、廣大ボランティアの皆さんに心から感謝いたします。

今回をもちまして、3年間合計12回開催した“家族で挑戦！野っばら探検講座”を無事終了しました。志和の里の小川で捕った魚の感触、思いっきり駆け回った緑の牧場、岩石や化石を通して感じた悠久の大地の営み、五感をすべて使って味わった秋の里山、私たちにとっても大変楽しいひと時でした。

ご参加いただいた多くの家族の皆さま、惜しみないご支援をいただいた東広島市生涯学習課の皆さま、子供たちのお兄さん、お姉さんとして活躍してくれた広島大学エコ・ページの学生諸君、講座の運営を手伝って下さったボランティアの皆さん、そして、自然との付き合い方を毎回熱心にご指導下さった講師の先生方に、心よりお礼申し上げます。

来年度からは、安芸津町の三津湾に浮かぶ小島：龍王島で新しいプログラムが始まる予定です。どうぞご期待下さい。

講座世話人 安藤忠男